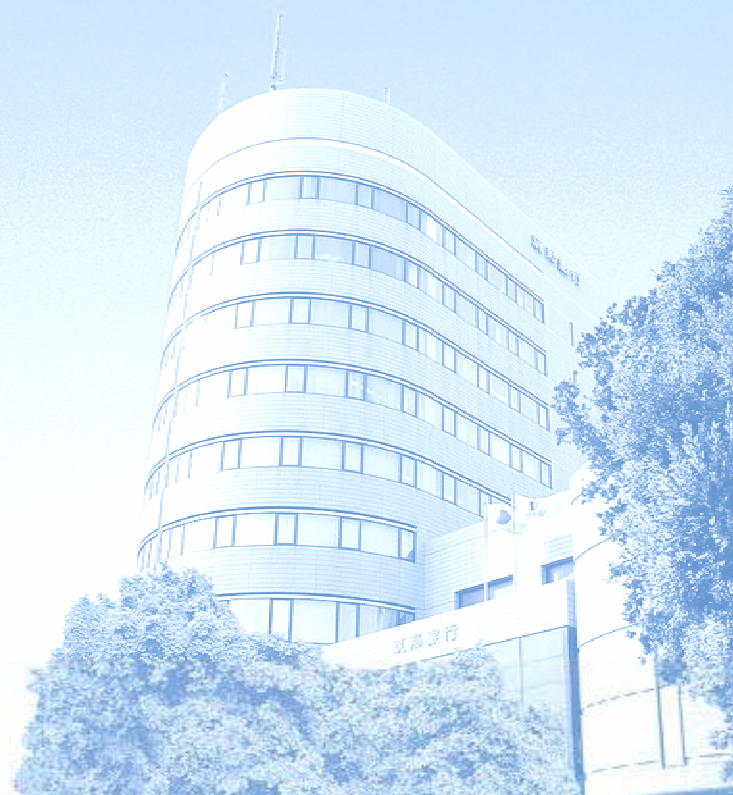


地域密着型金融推進への取組み

(平成21年度)



平成22年6月
筑邦銀行





地域密着型金融への取組みについて

「地域密着型金融」とは「地域金融機関が地域のお客さまとの間で親密な関係を長く維持することによりお客さまに関する情報を蓄積し、この情報を基に貸出金等の金融サービスの提供を行うことで展開するビジネスモデル」のことをいいます。

当行は『地域に根差しお客さまに選ばれ続ける銀行』を目指し、平成15年以来、7年間にわたりこの地域密着型金融の推進を継続しております。この間に取組んだ各施策は計画通りに進捗し、それぞれが着実に成果として結実しています。

平成21年度の地域密着型金融の取組み状況

当行は以下の3つの分野を重点分野とし、地域密着型金融の推進に取り組んでまいりました。

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

お取引先の創業・新事業支援、経営改善・事業再生支援、事業承継支援といったライフサイクルに応じた各段階でのきめ細かい支援に取り組んでいます。

2. 中小企業に適した資金供給手法の徹底

お取引先の事業価値を重視した融資を行うため、「目利き能力」の向上を図るとともに、担保や保証に過度に依存しない融資を推進することで、中小企業に対して積極的に資金供給を行っています。

3. 持続可能な地域経済への貢献

単にお客さまの資金ニーズに対応するだけでなく、ネットワークを通じた地域内外の専門家や専門機関との連携、外部資源を活用した地域経済活性化への積極的支援、官民が連携した取組み等へ積極的に参画しています。

平成21年度の地域密着型金融の取組み状況

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

(1)創業・新事業支援

近年、久留米地域ではバイオ関連企業の集積が進みつつあり、全国的にも注目を集めています。これは平成13年に始まった「福岡バイオバレープロジェクト」に端を発するもので、中核機関である久留米リサーチパークを中心に現在様々な事業が推進されています。

当行においても、これらのバイオベンチャー企業を育成・支援するため「ちくぎんバイオベンチャー研究開発大賞」を19年1月に創設し、年に一度、久留米・鳥栖地域産学官テクノ交流会において表彰を行っています。21年度は久留米市の医薬品等開発企業1社の表彰を行い、賞金50万円を贈呈しました。

また他にも、創業される方への支援の一環として、「久留米市新規開業資金」の取扱いを行っています。これは久留米商工会議所が実施している「創業塾」を良好な成績で修了した方を対象とした資金で、新規開業資金審査会を通じ、開業に必要な資金の融資を促進するものです。当行の21年度の取扱実績は8件32百万円でした。

*「創業塾」

新規開業を志している方や開業して間もない方を対象に事業経営における基礎知識や新規開業時の具体的な事業計画・資金計画の立て方を身につけていただく塾です。

平成21年度久留米・鳥栖地域産学官
テクノ交流会



第4回ちくぎんバイオベンチャー
大賞表彰式



平成21年度の地域密着型金融の取組み状況

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

(2)経営改善・事業再生支援

営業推進部内に専門スタッフを配置し、中小企業再生支援協議会との連携や全国初となった中小企業診断協会福岡県支部との業務提携を通じ、専門家と連携した地域企業の経営改善や事業再生の支援に取り組んでいます。21年度は38社の経営改善・事業再生支援を行い、D E S等の再生手法の活用にも取り組みました。

また中小企業金融円滑化法の施行を踏まえ、各営業店に「金融円滑化ご相談窓口」を設置するなど、お客さまからのご相談等に真摯に対応する態勢を整えています。

経営改善支援等の取組み実績

[21年4月～22年3月]

(単位:先数)

		期初債務者数 A	うち 経営改善支援取組み 先 α	αのうち期末に債務 者区分がランクアップ した先数 β	αのうち期末に債務 者区分が変化しな かった先 γ	αのうち再生計画を 策定した先数 δ	経営改善支援取組 み率 = α / A	ランクアップ率 = β / α	再生計画策定率 = δ / α
正常先 ①		5,748	0		0	0	0.00%		0.00%
要注 意先	うちその他要注意先 ②	1,556	29	0	27	3	1.86%	0.00%	10.34%
	うち要管理先 ③	10	1	0	1	1	10.00%	0.00%	100.00%
破綻懸念先 ④		184	8	1	7	4	4.35%	12.50%	50.00%
実質破綻先 ⑤		118	0	0	0	0	0.00%	0.00%	0.00%
破綻先 ⑥		86	0	0	0	0	0.00%	0.00%	0.00%
小 計 (②～⑥の計)		1,954	38	1	35	8	1.94%	2.63%	21.05%
合 計		7,702	38	1	35	8	0.49%	2.63%	21.05%

平成21年度の地域密着型金融の取組み状況

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

(3)事業再生支援

お取引先の抜本的な事業再生支援を目的として、事業再生ファンド「九州BOLEROファンド」への出資を行っています。このファンドは日本政策投資銀行、あおぞら銀行のほか、当行・鹿児島銀行、十八銀行、西日本シティ銀行、肥後銀行などの九州地銀5行が共同出資するファンドで、お取引先企業の事業再生等を支援し、投資を通じて企業の企業価値向上を図ることを目的とした地域特化型ファンドです。



(4)事業承継支援

お取引先の事業承継支援を目的として独立行政法人中小企業基盤整備機構の機能を活用した、九州初の事業承継ファンド「九州ブリッジファンド」への出資を行っています。このファンドは同機構のほか、当行・鹿児島銀行・佐賀銀行・十八銀行・西日本シティ銀行・肥後銀行などの九州地銀6行が共同出資するファンドで、投資を通じて投資先企業の円滑な事業承継を支援する地域特化型ファンドです。



また経済産業省が進める地域力連携拠点事業の活用や税理士等の専門家との連携を通じた地域のお客さまの事業承継支援にも取り組みました。

＊地域力連携拠点事業

中小企業の支援に関する専門的な知識、能力及び経験を有している「応援コーディネーター」を配置した中小企業支援機関等を「地域力連携拠点」として選定し、中小企業が直面する(1)経営力の向上、(2)創業・再チャレンジ、(3)事業承継といった課題対応を支援することにより、地域における中小企業の経営基盤の強化に資することを目的とした事業です。

当行は地域力連携拠点の一つである久留米商工会議所のパートナー金融機関となっています。



平成21年度の地域密着型金融の取組み状況

2. 中小企業に適した資金供給手法の徹底

(1)担保・保証に過度に依存しない融資等への取組み

保証協会の売掛債権担保融資の活用を推進しており、21年度中の取扱実績は69件327百万円です。

また地域の特色でもある農林業を営むお客さまに対しては、日本政策金融公庫や農林漁業信用基金との提携を通じた事業高度化資金や経営改善支援資金等の活用に取り組みました。これらの資金は運転資金の場合、原則として不動産担保や第三者の保証の必要のない資金です。21年度中の取扱実績は日本政策金融公庫との提携による運転資金が1件3百万円、木材産業高度化推進資金8件92百万円、林業運転資金14件630百万円です。

(2)企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取組み

当行行員の「目利き機能」の強化に向けて当行独自の取組みである「金融ホームドクター制度」の運用を行っています。これは各行員が取得した公的資格や銀行業務等の検定試験の合格状況により4段階の金融ホームドクターを設け、資格者には認定証とともに各段階に応じた手当を支給することで、行員の能力開発や自己啓発に関するモチベーションの向上を図るものです。「金融ホームドクター」の要件の中には中小企業診断士や税理士・FP技能士等の公的資格が含まれており、また検定試験の中にも日商簿記や税務、財務等中小企業の評価能力向上に繋がる試験が含まれています。またとくにノウハウが必要となる農業経営に関するコンサルティング能力向上のため、日本政策金融公庫 農林水産事業部が認定する「農業経営アドバイザー」の資格取得にも取り組んでおります。

◆金融ホームドクター認定状況（22年3月末）

プロフェッショナルドクター	5名
シニアドクター	22名
ヴァイスドクター	37名
アシスタントドクター	37名

◆公的資格等（22年3月末）

中小企業診断士	3名
社会保険労務士	2名
証券アナリスト	1名
農業経営アドバイザー	3名
1級ファイナンシャルプランニング技能士	5名
CERTIFIED FINANCIAL PLANNER(CFP)	2名
2級ファイナンシャルプランニング技能士	168名
AFFILIATED FINANCIAL PLANNER(AFP)	2名

平成21年度の地域密着型金融の取組み状況

3. 持続可能な地域経済への貢献

(1)各種無料相談会の開催

地域のお客さまのさまざまなニーズやご相談にお応えするために、福岡県弁護士会と提携した「法律相談会」、社会保険労務士と契約した「年金相談会」、(社)中小企業診断協会福岡県支部と提携した「経営相談会」等3つの無料相談会を定期的に開催しています。法律・経済(年金)・経営といった身近な悩みに関して手軽に専門家からのアドバイスが得られる無料サービスです。21年度の利用は法律相談会16件、年金相談会98件、経営相談会11件でした。



(2)久留米広域商談会等の開催

地域のお客さまへの幅広いビジネス機会の提供を目的に、佐賀銀行・十八銀行と相互のネットワークを活用した「北部九州ビジネスマッチング協議会」を運営しています。これは各行のお取引先のニーズに基づく個別のビジネスマッチング業務のほか、個別面談方式による商談会を企画するもので21年度は5月にファミリーマート商談会、7月に久留米広域商談会(久留米市、公的支援機関との共催)、22年2月に伊勢丹商談会を開催しました。





今後の地域密着型金融への取組みと情報開示について

当行では、地域密着型金融の機能強化に一層積極的に取組み、中小企業事業金融の分野において様々なお客さまのニーズに応えうる、真のパートナーとして信頼される銀行を目指してまいります。

今後の取組み状況や実績につきましては、ホームページやディスクロージャー誌・ミニディスクロージャー誌などを通じて、地域の皆さまに幅広く、わかりやすくお知らせしていく方針です。